



学校便り 太田っ子

令和3年5月31日

めざす子ども像

- ㊦ もいやりのある子
- ㊦ もいっさり勉強する子
- ㊦ くましく生きる子

随分早い梅雨入りとなり、鬱陶しい雨の日が続いています。運動場からは、子どもたちの歓声が消え、さみしそうにブランコが濡れています。教室では子どもたちが外で遊びたいとうずうずしながら、読書や折り紙などをして過ごしています。

もうすぐ第1回目の研究授業があります。研究授業というのは、学校の研究テーマに沿った授業を他の先生たちに参観してもらい、協議会を開いてその効果を検証し、より質の高い授業づくりをめざしていくものです。

「こんな活動をする子どもたちは理解を深めることができた」「こんな言い方をすればわかりやすかったのではないかな」などの授業での具体的な場面の話はもちろん、単元の計画やワークシートの内容など授業に関して多岐にわたり議論されます。太田小学校では、1年間を通して各学年とひまわり・なかよし学級から合計7つの研究授業を提案することになっています。7つの中には、他の学校の先生たちにも公開している教科等別研修会での授業も2つあります。また、市の教育委員会の先生が参観に来られる研究授業訪問での授業も1つあります。和歌山信愛大学の小林康宏先生（和歌山市客員指導主事）には年間を通して授業づくりの段階から指導を受けられることになっています。このように日々の授業の質を高めるために、研究授業に取り組んでいます。



昨年の研究授業の様子

先日、今年度の1回目の風の子活動が行われました。全校児童が縦割りの12グループに分かれます。6年生が活動リーダーとなって、主に遊びの活動を通して、学年を超えて交流します。運動場でドッジボール・しっぽ取り・ケイドロをするグループ、体育館でフリスビードッジをするグループ、教室で室内遊びをするグループがありました。どのグループも低学年のことを思って行動する高学年の姿が見られました。縦割りの活動ではそんな思いやりのある高学年の姿がたくさん見られるのがとてもうれしいです。低学年の子たちには、お兄さんお姉さんのそんな姿をしっかりと覚えておいてほしいです。



今年度より、1人1台のタブレットパソコンを使えるようになります。先日保護者の方に同意書をお願いし、高学年から使い始めています。行く行くは家庭でも使えるようにしていくことになっています。導入されたタブレットはGoogleのChrome Bookで、主に課題に答えたり、自分の考えを発表したりできるGoogle Classroomやテレビ会議ができるGoogle Meetを試しています。タブレットですが、文字はキーボードで打ち込みます。タイピングの練習も必要です。教員も効果的な活用方法を研修し、子どもたちが楽しみながら学習できるようにしていきたいと考えています。



(校長 市川 哲哉)